

令和〇年〇月〇日

〇〇委員会

## 【〇〇分野研究開発プラン(仮称)(フォーマット案)】

1. プランを推進するにあたっての大目標:「〇〇」(施策目標〇-〇) ※政策評価における「施策名」と「政策・施策番号」を記載する。

概要: 〇〇… ※政策評価における「施策の概要」を転記する。

2. プログラム名: 〇〇分野研究開発プログラム

概要: 〇〇… ※当該分野研究開発プログラムに係る政策評価における施策の「達成目標」を転記する。

上位施策: 〇〇(令和〇年〇月〇日〇〇決定)

※文部科学省が対応すべき内容を抜粋する。 ※別添可

△△(令和△年△月△日△△決定)

⋮  
⋮  
⋮

(1枚にまとめる)

# 【〇〇分野研究開発プラン(仮称)／□□研究開発プログラム(フォーマット案)】

〇〇委員会

○重点的に推進すべき取組と該当する研究開発課題、指標

※重点的に推進すべき取組を記載する。

※研究開発課題ごとに概要、目標を記載する。

※指標は、研究開発課題ごとに政策評価、行政事業レビューの指標を参考に記載し、それ以外の指標の設定・変更も可とする。

	2016 (FY28)	2017 (FY29)	2018 (FY30)	2019 (FY31)	2020 (FY2)	2021 (FY3)	2022 (FY4)	2023 (FY5)	2024 (FY6)	2025 (FY7)	2026 (FY8)
	前			中		前	後		中		後
重点的に推進すべき取組を記載	個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 ・行政事業レビューにおける成果指標 ・行政事業レビューにおける活動指標 等					個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 (案) ・行政事業レビューにおける成果指標 (案) ・行政事業レビューにおける活動指標 (案) 等					重点的に推進すべき取組の結果得られるアウトカムを記載
	前		中			後				中	
重点的に推進すべき取組を記載	個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 ・行政事業レビューにおける成果指標 ・行政事業レビューにおける活動指標 等					個別の研究開発課題名 概要： 目標：					重点的に推進すべき取組の結果得られるアウトカムを記載
				前		中			後		
					個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 ・行政事業レビューにおける成果指標 ・行政事業レビューにおける活動指標 等						

# 分科会事務局で作成した記載イメージ

## 【ナノテクノロジー・材料科学技術分野研究開発プラン(仮称)】

令和〇年〇月〇日  
(分野担当委員会名を記載)

### 1. プランを推進するにあたっての大目標:「未来社会を見据えた先端基盤技術の強化」(施策目標9-1)

概要: 我が国の未来社会における経済成長とイノベーションの創出、ひいてはSociety5.0の実現に向けて、その基盤技術となる革新的な人工知能、ビッグデータ、IoT、サイバーセキュリティ等の研究開発等を強化するとともに、我が国の強みを生かし、幅広い分野での活用の可能性を秘める先端計測、光・量子技術、ナノテクノロジー・材料科学技術等の共通基盤技術の研究開発等を推進する。

### 2. プログラム名: ナノテクノロジー・材料科学技術分野研究開発プログラム

概要: 望ましい未来社会の実現に向けた中長期的視点での研究開発の推進や社会ニーズを踏まえた技術シーズの展開、最先端の研究基盤の整備等に取り組むことにより、ナノテクノロジー・材料科学技術分野の強化を図り、革新的な材料を創出する。

上位施策: マテリアル革新力強化戦略(令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定)  
〇〇…

# 分科会事務局で作成した記載イメージ

## 【ナノテクノロジー・材料科学技術分野研究開発プラン(仮称)／ナノテクノロジー・材料科学技術分野研究開発プログラム】

○重点的に推進すべき取組と該当する研究開発課題、指標

(分野担当委員会名を記載)

活動指標 ②～④で形成した拠点・プラットフォーム数

	2019 (FY1)	2020 (FY2)	2021 (FY3)	2022 (FY4)	2023 (FY5)	2024 (FY6)	2025 (FY7)	2026 (FY8)	2027 (FY9)	2028 (FY10)	2029 (FY11)	2030 (FY12)	2031 (FY13)
		前			中			中					後
未来社会における新たな価値創出に向けた研究開発の推進	<b>①データ創出・活用型プロジェクト</b> 概要: 目標: ・成果指標: データ創出・活用に関する報告書数、データサイエンス的手法を用いた査読付き論文数 ・活動指標: ワークショップにおける参画機関数												
	<b>②材料の社会実装に向けたプロセスサイエンスの構築</b> 概要: 目標: ・測定指標: 産学官からの相談件数 ・成果指標: 産学官からの相談件数 ・活動指標: 査読付き論文数、プロセスサイエンス構築により獲得されたプロセス・構造・物性の相関の件数												
広範な社会的課題の解決に資する研究開発の推進	<b>③元素戦略プロジェクト(研究拠点形成型)</b> 概要: 目標: ・測定指標: 査読付論文数 ・成果指標: 査読付論文数 ・活動指標: 支援件数												
	<b>④ナノテクノロジープラットフォーム</b> 概要: 目標: ・測定指標: 支援件数 ・成果指標: プラットフォームの利用者による査読付論文数 ・活動指標: 支援件数												
ナノテクノロジー・材料科学技術を支える基盤の強化・活用	<b>⑤マテリアルデータインフラ</b> 概要: 目標: ・成果指標: 利用者による査読付論文数 ・活動指標1: 利用者に対する支援件数(機器利用、技術相談、技術補助、技術代行、共同研究) ・活動指標2: 利用料収入 ・活動指標3: 登録機器数												
	「超スマート社会」を実現するために必要となる機能性材料・構造材料の新たな研究手法の開発等を推進。また、新たな技術領域・未来社会を切り拓く挑戦的な基礎・基盤的な研究開発も推進。												
本分野として大きな貢献が見込まれる資源の安定的な確保と循環的な利用等の課題を中心に、その解決に資する必要な取組を推進。また、未解決課題や新たな課題等、応用先の開拓にも取り組む。													
共用の活動を通じて、我が国のナノテクノロジー・材料研究の研究開発投資の効率化と成果最大化に資する。													